

Come on! KUMAMOTO



熊本城

震災復興のシンボルとして復旧作業が進められています。天守閣全体の復旧が完了。加藤清正が築城した難攻不落の名城は、城下の町からもその姿を望めます。



阿蘇草千里

噴煙を上げる中岳、広大な草原と大きな池、そのそばを馬が歩く絶好のロケーションです。季節によって違った表情が楽しめます。



通潤橋 (山都町)

1854年に建設された日本最大級の石造アーチ水路橋です。1960年に国の重要文化財に。2023年6月に国宝に指定するよう文部科学大臣に答申されました。

青井阿蘇神社 (人吉市)



806年創建と言われる神社。2008年、国内最南端の国宝建築物に指定。茅葺屋根が美しい。

天草 崎津教会

世界文化遺産「天草の崎津集落」のシンボル。「海の天主堂」とも呼ばれ崎津の漁村風景は国の重要な文化的景観にも選定。

天草ではイルカウォッチングも遭遇率の高さから人気を博しています。



令和5年度 使途事業報告書



ふるさと

くまもと応援寄附金



熊本県の移住に関するお問い合わせ
< 熊本県移住定住ポータルサイト >



熊本県の
公式観光サイト



写真提供：熊本城総合事務所

©2010 熊本県くまモン

発行／熊本県総務部市町村・税務局税務課 税務企画班
〒862-8570 熊本市中心区水前寺6丁目18番1号
電話：096-333-2098 メール：zeimu25@pref.kumamoto.lg.jp

発行者：熊本県
所属：税務課
発行年度：令和5年度

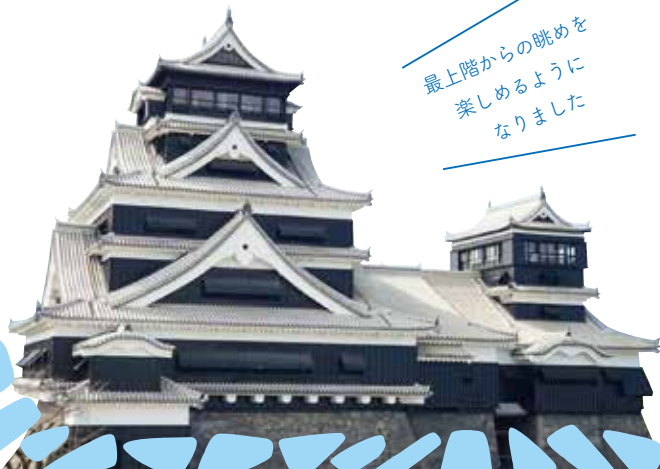
Thank you!



令和4年4月から令和5年3月までに寄せられた
「ふるさとくまもと応援寄附金」
4,924件 約4億3千万円

Come on!
KUMAMOTO

最上階からの眺めを
楽しめるように
なりました



熊本を応援していただいている皆様へ

「ふるさとくまもと応援寄附金」をお寄せくださり、誠にありがとうございました。

本県は現在、熊本地震、令和2年7月豪雨からの創造的復興に取り組んでおりますが、今年3月にはそのシンボルでもある阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビルが開業し、熊本駅、くまモンポート八代と併せて、陸、海、空の熊本の玄関口はすべて新しく生まれ変わりました。さらに、7月には、南阿蘇鉄道の全線運転再開や、熊本地震の教訓を後世に伝える展示施設「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」がオープンするなど、創造的復興が着実に進んでいます。また、来年春には建築家の安藤忠雄氏から寄贈される「こども図書館（仮称）」が開館予定です。熊本の新たな宝として皆様から末永く愛される施設となるよう、準備を進めています。

そのような中、皆様からいただいた貴重な御寄附を様々な取り組みに活用させていただいております。この冊子では、それらのうち代表的な取り組みについて御報告いたします。

皆様からの御支援を力に変え、これからも「県民総幸福量の最大化」に、全力を尽くして参りますので、引き続き、温かい応援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年9月
熊本県知事 蒲島郁夫

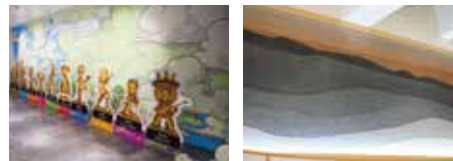


阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビルオープン

世界にひらかれた
空の玄関が
皆様をお迎えします



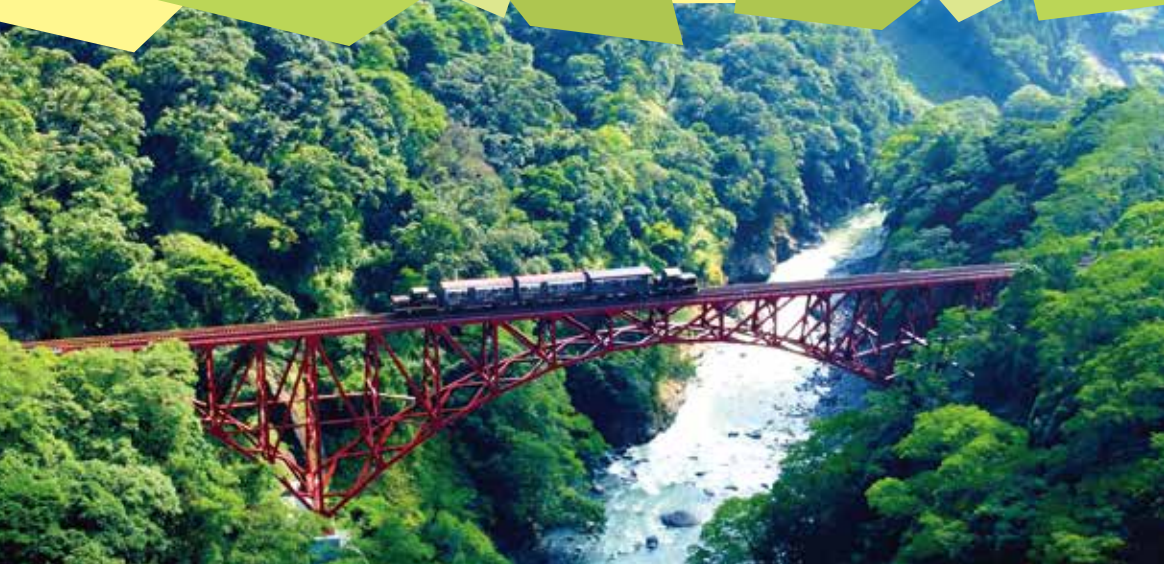
小国杉をふんだんに使った県産木材を活かした待合エリア



イベントスペースにはONE PIECEも 肥後漆喰 阿蘇五岳壁面アート
©尾田栄一郎／集英社

2023年3月、阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビルがオープンしました。「世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ」として、国内線・国際線の航空ネットワークの拡充を進めます。大きな特徴は3つ。

①搭乗間際まで楽しめる充実した待合エリア。②安全安心を提供する構造設備。③環境への配慮と快適な移動。その他にも、快適にお過ごしいただけるさまざまな工夫を取り入れています。



復旧が完了した「第一白川橋梁」を渡る南阿蘇鉄道トロッコ列車 車窓からは美しい渓谷が望めます

南阿蘇鉄道が 全線運転再開！

2023年7月、熊本地震によって被災していた南阿蘇鉄道が7年3か月を経て、全線復旧を果たしました。全線運転再開に伴い、JR豊肥本線の肥後大津駅(大津町)までの1日2往復の乗り入れも実現。観光はもちろん、通勤通学にも大いに役立つ鉄道になりました。



立野駅の新駅舎もオープン 木の温もりが優しい



ONE PIECE コラボ列車「サニー号トレイン」も登場
©尾田栄一郎/集英社



開放感ある高森駅の新駅舎

立野駅と高森駅の 新駅舎が完成

南阿蘇鉄道の始発駅・終着駅となる立野駅と高森駅の新駅舎が完成。木をふんだんに使った快適でゆったりとした空間の駅で、電車を待つことができるようになりました。

熊本地震震災 ミュージアムKIOKU

南阿蘇鉄道の全線運転再開と時を同じくして、2023年7月、南阿蘇村の旧東海大学阿蘇キャンパスに熊本地震震災ミュージアムの展示施設「KIOKU」がグランドオープンしました。震災遺物や映像シアターなどの展示のほか、地元語り部さんによる解説を通じて、訪れた人たちに熊本地震の記憶や経験、教訓をわかりやすく伝えています。



遺構や展示室のほか、断層が貫いた跡も見学可能



「こども図書館(仮称)」が 来春開館予定！

建築家・安藤忠雄氏から、こどもたちの豊かな感性と創造力を育むとともに、熊本地震からの復興のため、「こども図書館(仮称)」を寄贈いただきます。皆様からいただいた寄附金で、図書の整備・イベント開催・備品購入をはじめ充実した読書環境整備に活用させていただきます。



寄せられた寄附金で 実施する事業

これまでいただいた寄附金の一部を次の事業に活用させていただきます。

1. ふるさとくまもとづくり応援分

- 教育・文化の振興
- 保健・医療・福祉の充実
- 地域活性化
- 安全で安心な県民生活の確保
- 産業振興
- 環境の保全・再生
- 令和2年7月豪雨支援
- 熊本地震支援

- 1 熊本県の世界文化遺産の保全・活用に取り組んでいます…… 10
- 2 子供の読書活動を支援する取組みを進めています…… 11
- 3 高校生のキャリア教育の推進・充実に取り組んでいます…… 12
- 4 御所浦の医療提供体制の確保に取り組んでいます…… 13
- 5 県内の農村地域の活性化を目指しています…… 14
- 6 事業承継の加速化に取り組んでいます…… 15
- 7 農業人材の確保・育成を行っています…… 16
- 8 農業者のステップアップを支援しています…… 17
- 9 地域の防災力の向上に取り組んでいます…… 18
- 10 河川施設等の適切な維持管理に取り組んでいます…… 19
- 11 交番相談員の配置による街頭活動の強化に取り組んでいます…… 20
- 12 温室効果ガス排出削減を目指しています…… 21
- 13 熊本県の宝である地下水の保全と有機農業の推進に取り組んでいます…… 22
- 14 八代海のエビ類の資源増殖に取り組んでいます…… 23
- 15 令和2年7月豪雨で被災したくま川鉄道、JR肥薩線で通学する高校生等の支援を行っています…… 24

2. くまモン応援分

「100年後も愛されるくまモン」を目指して、くまモンの活動に活用します。

- 16 「くまモン」が100年後も愛されるキャラクターとなることを目指しています…… 25

3. 夢教育応援分

子どもたちの教育に役立てます。

また、応援する県内高等学校・特別支援学校（高等部）、その他団体等を指定されると寄附額の半額をその学校等に交付します。

- 17 海外の高校に留学する高校生の支援を行っています…… 26
- 18 県立学校に対して支援を行っています…… 27

4. NPO等支援分

地域における様々な課題の解決に向けて公益的な活動を行っているNPO等の支援に活用します。

- 19 NPO等の公益的な活動を支援しています…… 28

5. 新型コロナウイルス感染症対策分

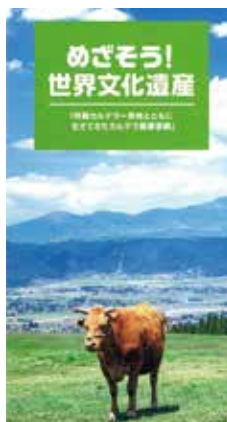
新型コロナウイルス感染症拡大防止や、県民生活・県経済への影響の最小化、社会・経済活動の回復等に向けた取組みに幅広く活用します。

- 20 新型コロナウイルス感染症対応に活用していきます…… 29

1. ふるさとくまもとづくり応援分

1

熊本県の世界文化遺産の
保全・活用に取り組んでいます



「阿蘇」世界文化遺産登録推進



三角西港

「明治日本の産業革命遺産」



崎津集落

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

熊本県内で世界文化遺産として登録されている「明治日本の産業革命遺産（万田坑・専用鉄道敷跡、三角西港）」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（天草の崎津集落）」について、適切な保全・活用を図り、情報発信を行います。特に潜伏キリシタン関連遺産は登録5周年を迎えるため、記念イベントを開催します。「阿蘇」については早期の世界遺産暫定一覧表掲載を目指し、若手研究者の研究募集や、東京でのシンポジウムを開催します。

世界文化遺産登録推進事業
寄附金充当額 5,000 千円

2

子供の読書活動を支援する
取組みを進めています



すべての子供たちに読書のよろこびを伝え、将来の夢を育むことを目的に子供の読書活動を支援する取組みを進めています。

昨年度の子供読書活動推進フェスティバルでは、県内の読み聞かせ団体による読み聞かせ会を実施し、子供から大人まで、誰もが読書に楽しめる機会の提供を行いました。



子供の読書活動推進支援事業
寄附金充当額 1,000 千円



1. ふるさとくまもとづくり応援分

3

高校生のキャリア教育の
推進・充実に取り組んでいます



キャリア教育の推進・充実に向け、インターンシップをはじめとするキャリア教育を通して、高校生に望ましい勤労観・職業観、実践的な知識・技術を身に付けさせ、自己の職業適性や将来設計について考えさせるための事業です。

県立高校（全日制）の生徒が3年間で1回でもインターンシップを体験する割合を80%にするというKPIを設定しています。新型コロナウイルスの影響で、昨年度は63.6%に留まっていますが、本年度以降目標を達成できるよう取り組んで参ります。

未来へつなぐキャリア教育推進事業
寄附金充当額 1,000 千円

4

御所浦の医療提供体制の確保に
取り組んでいます



御所浦は町全体が島であり、島内の医療提供体制の確保のため、御所浦診療所及び歯科診療所を集約し、医学生等を育成する機能を有する研修センターと医師住宅を備えた診療所の建設等に対する支援を行っています。

今後も島民と医師の診療環境の改善により、継続的な医師確保並びに島の医療を担う人材育成に向けた取組みを一体的に実施していきます。

御所浦
ごしょうら



御所浦医療提供体制強化支援事業
寄附金充当額 5,000 千円



1. ふるさとくまもとづくり応援分

5

県内の農村地域の活性化を
目指しています



「くまもと里モンプロジェクト推進事業（H26～R 元）」
により、県内各地に様々な地域活動の芽吹きとその成
果が生まれました。

これらの成果を踏まえ、農村コミュニティの機能強化
を図り、地域活動を持続できる体制づくりを目指す住
民主体の取組みを支援する市町村への補助を通じて、
県内農村地域の活性化を目指しています。令和2～4年
度までに13市町（26団体）を支援しました。

がまだす里モン支援事業
寄附金充当額 1,000 千円

6

事業承継の加速化に
取り組んでいます



CM放映



中小企業経営者の高齢化や後継者不在等の社会的課題
に対応するため、事業承継に関する広報を行い、経営
資源を次世代に繋ぐ取組みを後押ししています。
令和4年度は、CM放映やテレビ番組取材など各種メ
ディアを活用して、事業承継の事例や支援団体の取組
みを紹介しました。今年度も、引き続き、広報事業を
行い、円滑な事業承継を支援します。

事業承継加速化推進事業
寄附金充当額 1,000 千円

1.ふるさとくまもとづくり応援分

7

農業人材の確保・育成を
行っています



農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、農業県くまもとを維持するために、新しく農業を志す方の支援に取り組んでいます。

県では「教育・啓発・相談」、「研修」、「就農」、「定着」の各ステージに応じた支援体制を整備し、中学生向けの農業体験バスツアー、新規就農支援センターによる相談対応、農業大学校における社会人研修、県の普及指導員によるサポートなど、農業人材の確保・育成に力を入れています。

熊本型新規就農総合支援事業
寄附金充当額 5,000千円

8

農業者のステップアップを
支援しています



農業経営を取り巻く環境が厳しくなる中、熊本の農業を競争力ある力強いものとするためには県内農業者のスキルアップが不可欠です。そこで県では、「くまもと農業経営塾」や「くまもと農業アカデミー」等の様々な研修を通じて、農業者のステップアップをトータルで支援しています。

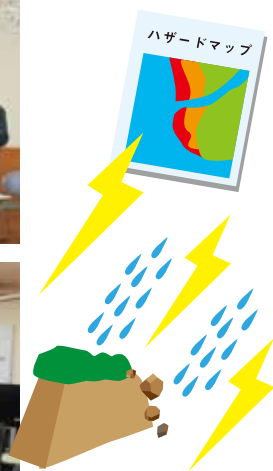
くまもと農業経営塾では、令和4年度は10講座を実施し、12人が受講しており、今年度も10講座を実施予定です。くまもと農業アカデミーでは、令和4年度は43講座を実施し、958人が受講しており、今年度も継続して実施することとしています。

くまもと農のひとづくり事業
寄附金充当額 1,000千円

1.ふるさとくまもとづくり応援分

9

地域の防災力の向上に
取り組んでいます



地域の防災活動の中心となる自主防災組織等に、県の自主防災組織活動支援員を派遣し、防災活動の指導・助言等を実施しています。

地区ごとの自主避難計画となる地区防災計画の策定や、ハザードマップやマイタイムラインを活用した住民参加型訓練の実施など、実践的な活動を支援することで、地域ぐるみで命を守る地域防災力の向上を図っています。

実践的地域防災力強化事業
寄附金充当額 1,000 千円

10

河川施設等の適切な維持管理に
取り組んでいます



計測状況

定点観測状況



河川維持管理実施計画等に基づき、災害防止・被害の軽減のための河川や海岸の巡視、また、その区間内にある施設の点検、河川の定点観測による土砂の堆積状況等の把握を行っています。

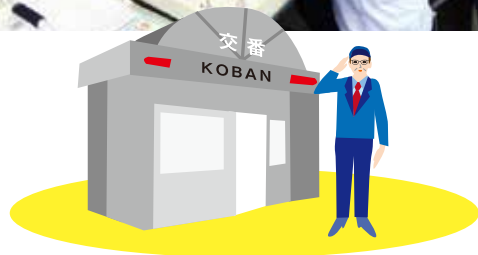
堤防に陥没が見つければ、応急対策として穴をふさいだりすることもありますが、巡視や点検等の結果を基に、施設修繕を計画的に実施し、河川・海岸管理者として瑕疵が無いよう、適切な維持管理水準の確保を図っています。

治水堤防費
寄附金充当額 10,000 千円

1. ふるさとくまもとづくり応援分

11

交番相談員の配置による街頭活動の強化に取り組んでいます



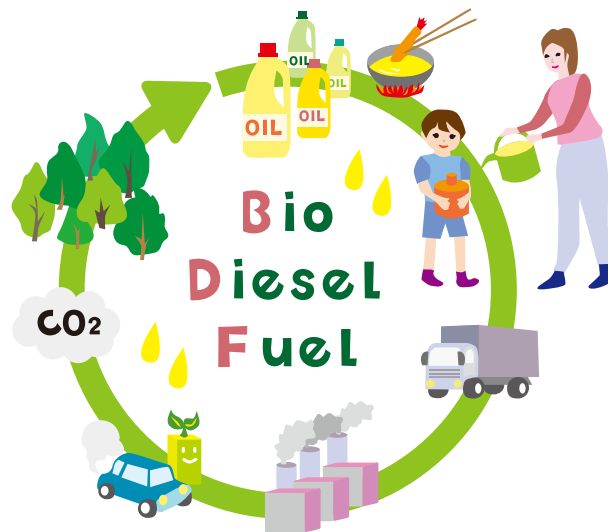
県民からの「いつも交番に誰かいて欲しい」「いつもパトロールして欲しい」という要望に応えるため、交番に警察官 OB の交番相談員65人を配置し、落とし物などの届出受理、相談対応等を行っています。

交番相談員を配置することで交番の不在を解消し、警察官によるパトロールを始めとする街頭活動の強化につながっています。

地域企画調査費のうち交番相談員の任用
寄附金充当額 20,000 千円

12

温室効果ガス排出削減を目指しています



温室効果ガス排出削減のため、市町村と連携し、カーボンニュートラル燃料である高純度バイオディーゼル燃料の製造に必要な廃食油を、資源ごみとともに回収する実証事業を実施します。

回収に係る課題や対応策を整理し、県内の市町村に取組方法等を横展開するなど、廃食油の回収強化を図ります。

県民ゼロカーボン推進事業
寄附金充当額 450 千円

1. ふるさとくまもとづくり応援分

13

熊本県の宝である地下水の保全と有機農業の推進に取り組んでいます



整備した堆肥舎



熊本県の宝である地下水の保全や有機農業の推進を図るため、堆肥の有効活用に必要な堆肥舎や堆肥散布機等の導入を支援しています。

今年度は複数の要望があり、堆肥舎の整備と堆肥の良質な発酵を促すための機械の導入を支援することとなっています。

今後も畜産農家と稲作農家等との両面から堆肥の有効活用に取り組み、更なる堆肥の流通促進につなげていきます。

環境保全型農業総合支援事業
寄附金充当額 1,000 千円

14

八代海のエビ類の資源増殖に取り組んでいます



八代海におけるエビ類（クルマエビ、クマエビ等）の資源増殖に向けて、八代海沿岸市町及び漁協が連携して実施する共同放流を支援しています。

今年度は、八代海沿岸にクルマエビ及びクマエビを合計4百万尾程度放流する予定です。

有明海・八代海再生事業
寄附金充当額 1,000 千円

1. ふるさとくまもとづくり応援分

15

令和2年7月豪雨で被災したくま川鉄道、JR肥薩線で通学する高校生等の支援を行っています



令和2年7月豪雨により、くま川鉄道、JR肥薩線が運休し、高校生等の通学に大きな支障が出ています。通学手段を緊急的に確保するため、代替輸送バスを運行するくま川鉄道や、高速バス利用の運賃助成を行う県立学校の保護者会に対する支援に取り組んできました。今後とも、引き続き、通学支援を行い、高校生等の学びを支援していきます。

くま川鉄道

熊本県

高等学校等通学支援事業
寄附金充当額 5,000 千円

2. くまモン応援分

16

「くまモン」が100年後も愛されるキャラクターとなることを目指しています



九州新幹線開業をきっかけにデビューした熊本県のPRキャラクター「くまモン」は、多くの方々の応援を受け、活動開始から13年目を迎えることができました。令和4年度は、くまモンの世界観を楽しむことができる「くまモンランド化構想」に取り組みました。令和5年度は東アジアやフランスなど海外での活動にも積極的に取り組み、世界中で熊本県のPRを行っているところです。「くまモン」が100年後も愛されるキャラクターとなることを目指すとともに、くまモンの活躍を通して、熊本の魅力や「サプライズ&ハッピー」を世界中に広めていきます。

くまモン隊管理運営業務
寄附金充当額 20,000 千円

3. 夢教育応援分

17

海外の高校に留学する高校生の支援を行っています



熊本の将来の発展を支える国際的な視野を持った人材を育成するため、海外の高校に留学する高校生に支援金の交付を行っています。

令和4年度は海外へ留学する6名に対して、支援金を交付しました。

海外留学には多額の費用がかかるため、支援金により生徒の海外留学の後押しをしています。

高校生海外留学支援事業
寄附金充当額 1,500 千円

18

県立学校に対して支援を行っています



子どもたちの「夢への架け橋」となる教育、いわゆる「夢教育」を実現するため、「夢教育応援被応援団体」として登録された県立学校における学校行事、文化・スポーツ活動等の教育環境整備に係る物品購入や施設整備等に寄附金を活用しました。

これらの物品や施設を最大限活用し、県立学校における特色ある夢教育の実践に努めて参ります。

夢教育応援事業
寄附金充当額 5,981 千円

4.NPO等支援分

19

NPO等の公益的な活動を支援しています



地域における様々な課題の解決に向け、まちづくりの推進や災害時の救援、子どもの健全育成など公益的な活動を行うNPO等を支援しています。

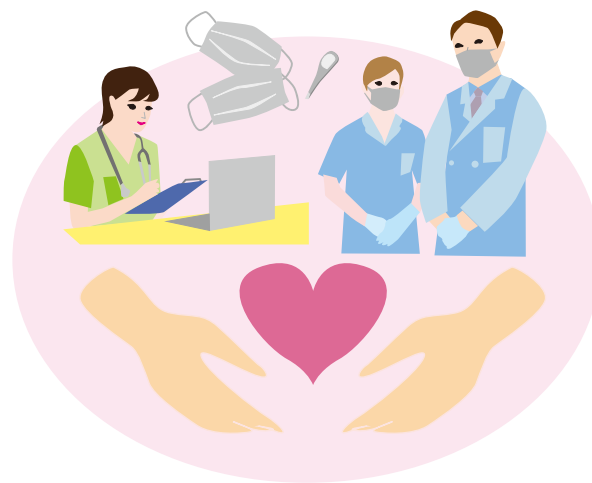
登録されたNPO等の中から応援したい団体を指定し寄附をいただくと、その2分の1が各NPO等の公益的な活動に役立てられます。寄附金の残り2分の1は、NPO等を支援する県の事業等に活用しています。

県民との協働推進事業
寄附金充当額 4,918 千円

5. 新型コロナウイルス感染症対策分

20

新型コロナウイルス感染症対応に活用していきます



新型コロナウイルス感染症に関する多様な事業を実施しているところですが、国の交付金が手厚く交付されていることから、令和5年度はふるさとくまもと応援寄附金の活用はありませんでした。

今後、国の交付金の状況を踏まえ、効果的な感染防止や変化した社会環境への対応、経済活動の回復など、新型コロナウイルス感染症に対応する事業への寄附金の活用を検討して参ります。

令和5年度
(2023年度)
当初予算
実施分

令和4年度(2022年度)
ふるさとくまもと
応援寄附金充当事業

単位：千円

事業名	寄附金充当額	ページ
1 ふるさとくまもとづくり応援分		
1 世界文化遺産登録推進事業	5,000	10
2 教育サポート事業	10,000	
3 「親の学び」推進事業	2,000	
4 子供の読書活動推進支援事業	1,000	11
5 未来へつなぐキャリア教育推進事業	1,000	12
6 スクールカウンセラー活用事業	10,000	
7 スクールソーシャルワーカー活用事業	10,000	
8 展覧会事業費	1,000	
9 生活困窮者総合相談支援事業（通常分）	10,000	
10 生活困窮者自立支援プラン推進事業（通常分）	10,000	
11 御所浦医療提供体制強化支援事業	5,000	13
12 ハンセン病事業費のうちハンセン病回復者・ 家族支援事業	3,000	
13 地域づくりチャレンジ推進事業	1,000	
14 プロスポーツによる地域活性化事業	39,600	
15 がまだす里モン支援事業	1,000	14
16 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業	5,000	
17 事業承継加速化推進事業	1,000	15
18 商工会商工会議所・商工会連合会補助	4,000	
19 熊本型新規就農総合支援事業	5,000	16
20 熊本とつながる農業外国人材育成事業	2,000	
21 くまもと農のひとづくり事業	1,000	17
22 くまもと農業の継承支援事業	5,000	
23 スマート農業実践による就農促進事業	1,000	
24 実践的地域防災力強化事業	1,000	18
25 危険地区からの移転促進事業（砂防課）	10,000	
26 治水堤防費	10,000	19
27 くまもとの「まち」と「ひと」を守る声かけ安心実現事業	10,000	

事業名	寄附金充当額	ページ
28 安全で安心なまちづくり事業費のうち 警察安全相談員の設置	3,469	
29 地域企画調査費のうち交番相談員の任用	20,000	20
30 県民ゼロカーボン推進事業	450	21
31 高齢運転者安全運転装置等設置支援事業	4,550	
32 環境保全型農業総合支援事業	1,000	22
33 耕作放棄地解消事業	1,000	
34 内水面漁業振興対策事業	1,000	
35 有明海・八代海再生事業	1,000	23
36 『ONE PIECE』連携復興応援事業	54,550	
37 動物愛護推進事業	5,000	
38 高等学校等通学支援事業（7月豪雨対応分）	5,000	24
2 くまモン応援分		
39 くまモン隊管理運営業務	20,000	25
3 夢教育応援分		
40 有斐学舎運営費補助	595	
41 夢教育応援補助	2,387	
42 熊本時習館海外チャレンジ推進事業 （高校生留学支援）	1,500	26
43 熊本時習館海外チャレンジ推進事業 （海外大学進学資金給付）	2,000	
44 夢教育応援事業	5,981	27
45 海外留学促進事業	1,000	
4 NPO等支援分		
46 県民との協働推進事業	4,918	28
5 新型コロナウイルス感染症対策分		
47 事業なし		29